

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.6.27	13:12	13:50	22.4	22.6	シルト混砂	7.5Y3/1	植物片	0.9	>0.9

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.6.27		8.1	1.1	4.5	7.5	4570	29.87	1.9	20	9.7	0.014	0.093	0.00090

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.6.27	13:50	7.6	227	21.3	1.3	2.2	2.717	0.1	0.3	47.4	44.7	3.1	4.4	0.25	4.8	7.2	63	N.D. (0.12)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H29.6.21	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.045	—	—	—	3.1	N.D. (1.2)	3.1	—	
					藻類・植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	—	0.34	—	—	—	—	3.20	0.40	2.8	—
					環形動物	多毛	キシバゴカイ	ゴカイ	<i>Hediste sp.</i>	カワゴカイ属	453	0.17	成体	—	—	14.8	1.8	13	—	
					環形動物	多毛	ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	<i>Cirratulida</i>	ミスヒキゴカイ科										
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	123	0.10	未成体/成体	—	—	1.7	N.D. (0.57)	1.7	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	1	0.078	未成体	—	—	11.7	1.7	10	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ウケガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	18	0.23	未成体/成体	—	—	3.06	0.36	2.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	コチ	<i>Platycephalus sp.</i>	マゴチ	1	0.011	未成魚	—	—	N.D.	N.D. (2.9)	N.D. (2.6)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	36	0.071	未成魚	—	—	1.9	N.D. (0.69)	1.9	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronectidae</i>	カレイ科										
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Platichthys stellatus</i>	ヌマガレイ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ	10	0.026	未成魚	—	—	3.1	N.D. (1.7)	3.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ										
					脊椎動物	硬骨魚	フカ	フカ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ										
											2	0.23	成魚	カニ類、貝類	内臓除去	1.9	N.D. (0.49)	1.9	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。